

令和8年度人権推進校事業 「羽島市桑原学園でのボッチャ体験」

日程：令和8年5月22日（金）

場所：桑原学園 体育館

参加人数：ボッチャ協会（選手2名、職員2名、審判1名）、人権擁護委員羽島部会7名、桑原学園生（4～9年生99名）、教職員等、総勢130名程度

人権啓発活動（障害者スポーツ体験）の一環として桑原学園でボッチャを実施しました。当日はボッチャ協会のご協力を頂き、桑原学園の4～9年生の学園生が参加してくれました。

ボッチャというスポーツの紹介に始まり、ルール説明、実践体験、選手への質疑応答など、皆積極的に理解をしようと活動しました。終始、楽しく和やかな雰囲気の中、実践体験時には真剣にボッチャに取り組む学園生を、参加した人権擁護委員はサポートさせていただきました。



ボッチャ協会の方によるルールの説明後は先生チームと選手チームの対決で、盛り上がりました。



準備をさせていただいた人権擁護委員が、学園生がボッチャを楽しむ姿を見守りました。



学園生は活発に選手に質問をしました。ボッチャに対する興味や理解が深まったと思います。

ボッチャのプレー後、ボッチャ協会の選手に桑原学園の学園生たちが質問をした一部です。

学園生 A「ボッチャの前は何かスポーツをしていましたか。」

選手「車いすバスケをしていましたが、ボッチャやらないか？って誘われました。」

学園生 B「からだが不自由な中でボッチャのプレーに困ることはありましたか？」

選手「普通にする分には不便ではないけど、車いすに当たらないように投げるために、投げ方を工夫しています。」